

Oracle® GoldenGate Director
リリース・ノート 11g
リリース 2 (11.2.1)

B70204-01(原本部品番号: E35700-01)

Copyright © 2008, 2009, 2010, 2011, 2012 Oracle and/or its affiliates. All rights reserved.

このソフトウェアおよび関連ドキュメントの使用と開示は、ライセンス契約の制約条件に従うものとし、知的財産に関する法律により保護されています。ライセンス契約で明示的に許諾されている場合もしくは法律によって認められている場合を除き、形式、手段に関係なく、いかなる部分も使用、複写、複製、翻訳、放送、修正、ライセンス供与、送信、配布、発表、実行、公開または表示することはできません。このソフトウェアのリバース・エンジニアリング、逆アセンブル、逆コンパイルは互換性のために法律によって規定されている場合を除き、禁止されています。

ここに記載された情報は予告なしに変更される場合があります。また、誤りが無いことの保証はいたしかねます。誤りを見つけた場合は、オラクル社までご連絡ください。

このソフトウェアまたは関連ドキュメントが、米国政府機関もしくは米国政府機関に代わってこのソフトウェアまたは関連ドキュメントをライセンスされた者に提供される場合は、次の Notice が適用されます。

U.S. GOVERNMENT RIGHTS Programs, software, databases, and related documentation and technical data delivered to U.S. Government customers are "commercial computer software" or "commercial technical data" pursuant to the applicable Federal Acquisition Regulation and agency-specific supplemental regulations. As such, the use, duplication, disclosure, modification, and adaptation shall be subject to the restrictions and license terms set forth in the applicable Government contract, and, to the extent applicable by the terms of the Government contract, the additional rights set forth in FAR 52.227-19, Commercial Computer Software License (December 2007). Oracle USA, Inc., 500 Oracle Parkway, Redwood City, CA 94065.

このソフトウェアは様々な情報管理アプリケーションでの一般的な使用のために開発されたものです。このソフトウェアは、危険が伴うアプリケーション（人的傷害を発生させる可能性があるアプリケーションを含む）への用途を目的として開発されていません。

このソフトウェアを危険が伴うアプリケーションで使用する際、このソフトウェアを安全に使用するために、適切な安全装置、バックアップ、冗長性（**redundancy**）、その他の対策を講じることは使用者の責任となります。このソフトウェアを危険が伴うアプリケーションで使用したことにより起因して損害が発生しても、オラクル社およびその関連会社は一切の責任を負いかねます。

Oracle は Oracle Corporation およびその関連企業の登録商標です。その他の名称は、それぞれの所有者の商標または登録商標です。

このソフトウェアおよびドキュメントは、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセス、あるいはそれらに関する情報を提供することがあります。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスに関して一切の責任を負わず、いかなる保証もいたしません。オラクル社およびその関連会社は、第三者のコンテンツ、製品、サービスへのアクセスまたは使用によって損失、費用、あるいは損害が発生しても、一切の責任を負いかねます。

目次

ライセンス・キー	4
可用性	4
Oracle GoldenGate Director 11.2.1 の新機能	4
Oracle GoldenGate 11.2.1 の新しいパラメータ・サポート	4
ドキュメントの正誤表	4
インストールとアップグレード	5
既知の問題	5
サポートされているプロセス・タイプ	5
マクロ	6
DEFGENユーティリティ	6
Oracle GoldenGate Director GGSCI	6
出力フォーマット・パラメータ	7
単一ホスト上の複数のGoldenGateインスタンス	7
ログの表示	7
修正された問題	7
My Oracle Supportからのヘルプ	7

ライセンス・キー

Oracle GoldenGate Director を使用するために、'pw'ファイルは不要になりました。バージョン 11.1.1 以上にアップグレードすると、インストール・ディレクトリからこのファイルを安全に削除できます。

可用性

Oracle GoldenGate Director は、現在の Oracle GoldenGate サポート・ポリシーで適用される Oracle GoldenGate ソフトウェアのバージョンと互換性があります。

どの Oracle GoldenGate ビルドがデータベース・バージョンとオペレーティング・システムの特定の組合せで利用できるか調べるには、<http://support.oracle.com> にログオンし、「動作保証」タブを選択します。ご質問がございましたら、「動作保証検索のヒント」をクリックしてください。

このサイトに入るには、電子メールとパスワードが必要です。

Oracle GoldenGate Director 11.2.1 の新機能

Oracle GoldenGate 11.2.1 の新しいパラメータ・サポート

新しいパラメータが Oracle GoldenGate 11.2 のコア製品で導入され、Oracle GoldenGate Director のこのバージョンでサポートされます。Oracle GoldenGate 11.2 では、マルチバイト・サポートも実装され、GoldenGate Director 11.2 によって UTF8 でのみサポートされます。特定のパラメータの詳細は、Oracle GoldenGate のリリース・ノートを参照してください。

ドキュメントの正誤表

このセクションでは、このバージョンのドキュメントが発行された後のドキュメントのエラーの修正情報が含まれています。

<意図的に空白にしてあります。>

インストールとアップグレード

Oracle からダウンロードしたインストール・ファイルは、gzip で圧縮されたファイルではなく、標準の.zip ファイルです。ダウンロード・ファイルを解凍するには、次の方法を使用してください。

- Windows: winzip、または.zip 拡張子のファイルをサポートする他の方法を使用します。
- UNIX/Linux: "unzip" コマンド・ユーティリティを使用してダウンロード・ファイルを解凍します。
- メインフレーム: "unzip" コマンド・ユーティリティを使用してダウンロード・ファイルを解凍します。

サーバーにこれらのユーティリティがない場合は、Oracle の Web サイト (<http://updates.oracle.com/unzips/unzips.html>) からダウンロードできます。

アップグレードの手順は、『Oracle GoldenGate Director 管理者ガイド』を参照してください。

既知の問題

- Director は UTF-8 形式のみサポートするため、特定の文字セットをサポートしなかったり、一部の文字を正しく表示できない場合があります。
- 統合抽出コマンドが Director リクエストに応答しない場合があります。Oracle Bug#13844907 を参照してください。
- IBM z/OS は、まだサポートされていません。Oracle Bug#13861016 を参照してください。
- リスト表が Director Web クライアントで機能しません。Oracle Bug#13885563 を参照してください。
- エラー・ログとエラー・メッセージにマルチバイト文字が含まれない場合があります。Oracle Bug#13928381 を参照してください。

サポートされているプロセス・タイプ

GGSCI で標準的に定義されているプロセスのみ Oracle GoldenGate Director で構成、監視、制御が可能です。スタンドアロンのプロセスと、オペレーティング・システムのコマンド・ラインから実行される DDLGEN、MEASFLS、MEASRPT、TRIGGER のようなプログラムは、Oracle GoldenGate Director で作成したり監視できません。

Windows、UNIX、NonStop では、次のプロセスは Oracle GoldenGate Director で構成、監視、制御が可能です。

- Extract
- Replicat
- Manager
- 証跡 (ローカルおよびリモート)
- ファイル (ローカルおよびリモート)
- Extract および Replicat のタスク

Nonstop では、Logger プロセスの監視と制御が可能ですが、Oracle GoldenGate Director Client ではなく GGSCI と LOGPARM ファイルを使用して、プロセスを構成または変更する必要があります。

マクロ

Oracle GoldenGate Director は、パラメータ・ファイル内で定義されたマクロをサポートしません。INCLUDE パラメータを外部参照しているマクロをサポートしますが、次の制限があります。マクロでは、次のパラメータを定義できず、Oracle GoldenGate Director でもパラメータ・ファイルを処理できません。

- EXTRACT
- REPLICAT
- RMTHOST
- RMTTRAIL
- RMTFILE
- RMTBATCH
- EXTFILE
- EXTTRAIL
- SOURCEDB
- USERID
- TABLE
- MAP
- COLMAP

DEFGENユーティリティ

Oracle GoldenGate Director のビルトイン DEFGEN ユーティリティは、すべてデフォルト設定の定義ファイルを作成します。定義の出力をカスタマイズするには、DEFGEN のコマンドライン・バージョンを使用する必要があります。

Oracle GoldenGate Director GGSCI

Oracle GoldenGate Director のビルトイン GGSCI ウィンドウは、次の Oracle GoldenGate コマンドをサポートしません。これらのコマンドは、Oracle GoldenGate ホストの GGSCI から投入される必要があります。

- DBLOGIN を含むすべてのデータベース・コマンド
- VERSION
- FC
- HISTORY
- !
- SHELL
- EDIT PARAMS
- EXIT

- RESTART
- ADD TRACETABLE

Oracle GoldenGate Director は、Oracle GoldenGate TRACETABLE を Oracle データベースに追加するインタフェースがありません。また、Oracle GoldenGate Director のビルトイン GGSCI インタフェースから作成することもできません。ADD TRACETABLE コマンド（および他のすべてのデータベース・コマンド）は、DBLOGIN のデータベース・ログインが必要です。そのため、Oracle GoldenGate ホストのローカル GGSCI セッションで使用する必要があります。

出力フォーマット・パラメータ

Oracle GoldenGate Director は、FORMATASCII、FORMATSQL および FORMATXML を使用した異なるフォーマットでの複数ファイルへの単一の Capture オブジェクトの書き込みをサポートしません。フォーマット・パラメータは Capture オブジェクトへの挿入によってグローバルに適用されるだけです。同一のデータを異なるフォーマットで取得するには、Capture オブジェクトは各フォーマットに定義される必要があります。

さらに、Oracle GoldenGate Director は複数のフォーマット・パラメータで設定される既存の Capture オブジェクトを処理しません。既存のオブジェクトが Oracle GoldenGate Director を使用して保存されている場合、想定外の動作の原因となる可能性があります。

単一ホスト上の複数のGoldenGateインスタンス

ホスト上の 1 つの Oracle GoldenGate からの Delivery プロセスは、同一コンピュータ上の異なる Oracle GoldenGate インスタンスから Capture プロセスによって書かれた証跡を読むために、Oracle GoldenGate Director を通して設定することはできません。この設定は GGSCI を通して作成されますが、Oracle GoldenGate Director に正しく表示されません。プロセスを接続する線が表示されません。

ログの表示

11.1.1.0.6 以前の Oracle GoldenGate コア・バージョンを使用している場合、Oracle GoldenGate Director Desktop と Activity Console にログが表示される断続的な問題がありました。この問題を解決するため Oracle GoldenGate 11.1.1.0.6 のコアで変更が行われました。

修正された問題

Director 11.2.1.0.0 の各ビルドに適用された修正は次のとおりです。特定のバグ番号やチケット番号に関する不明点は、Oracle カスタマ・サポートにお問い合わせください。

My Oracle Supportからのヘルプ

My Oracle Support を使用すると、顧客、パートナー、オラクル社社員が報告したナレッジ・ソリューション、回避策、その他の情報を見つけることができます。My Oracle Support により、サービス・リクエストを開くこともできます。サービス・リクエストを解決するためにパッチが必要な場合、My Oracle Support からパッチをダウンロードする方法が指示されます。

注意: Oracle GoldenGate を購入し、販売代理店からサポートを受ける場合は、My Oracle Support からサービス・リクエストを作成せず、その代理店に問い合わせてください。

Oracle GoldenGate のナレッジ・ベースを表示する手順

1. <http://support.oracle.com> にアクセスします。

Oracle GoldenGate Director リリース・ノート 11g リリース 2 (11.2.1)

2. 言語を選択し、電子メールと Oracle パスワードでログインします。
3. 「ナレッジ」タブをクリックします。
4. 「ナレッジの参照」の下で、「**Management Pack for Oracle GoldenGate**」を選択するか入力します。

My Oracle Support に関するヘルプが必要な場合は、アプリケーション・ウィンドウの「ヘルプ」をクリックします。

サービス・リクエストのオープン手順

1. 「サービス・リクエスト」タブをクリックします。
2. 「SR の作成」タブをクリックします。
3. フォームに記入し、必要に応じてアプリケーション・ウィンドウの上部にある「ヘルプ」を参照します。